

# 大粒、多収で製あん適性が優れた 白小豆の新品種を育成しました

## 「岡山ADZ1号」の特性

品種名	岡山ADZ1号	在来種	
成熟期 (月/日)	11/7	11/9	
倒伏 <sup>z</sup> (0~5)	3.3	4.1	
粒大 (g/100粒)	15.2	14.0	
子実収量 (kg/10a)	292	254	
製あん 適性 <sup>y</sup>	煮えやすさ (%)	100	—
	風味 (%)	83	—



左：在来種

右：新品種  
「岡山ADZ1号」

z：倒伏：数字が大きいほど程度が大きい  
y：実需6者によるつぶあんの製あん適性  
(使用している白小豆と比べて「良い」と回答した割合)

## 開発のねらい

岡山県で栽培されている白小豆在来種は、小粒で、倒伏しやすい欠点があります。そこで、大粒で揃いが良く、作りやすく多収で製あん適性の優れた新品種を育成しました。

## 新技術の概要

- 「岡山ADZ1号」は、在来種「高梁白」に「新備中大納言」を交配した品種で、11月上旬に成熟します。
- 倒伏しにくく作りやすいです。
- 在来種より粒は大きく、形のそろいがよく、収量も優れています。
- 煮えやすく、つぶあんの「風味」が優れています。

## 活用場面

良質で均一な白小豆を安定して生産することで、「岡山の白小豆」のブランド強化につながり、生産から加工、販売を含めた産地の活性化が期待できます。